

引継ぎも和やかに～委員会活動～

学校には、子どもたちが自身の手でよりよい学校生活を送るための役立ちの場として、委員会活動があります。本校は、運営委員会、保体・美化委員会、図書・報道委員会の3つの委員会があり、4年生以上が所属しています。

1月31日（金）は、月に一度の委員会活動の話し合いが行われました。この日はいつもと異なり、引継ぎを兼ねて来年度4年生になる現3年生も参加しての委員会で、今後は6年生に見守られながら現3～5年生が中心となって各委員会活動を行っていくことになります。

図書・報道委員会の子どもたちが、教室での話し合いを終え、放送室にやってきました。3年生の子が椅子に座り、放送原稿を見ながら実際に放送する練習をしています。隣には6年生がいて、3年生の様子を温かく見守っています。「このボタンを押してね」と機械操作のやり方を教えたり、「もうちょっと、口をマイクに近づけていいよ」と放送の仕方をアドバイスしたりしています。6年生にやさしく教えてもらいながら、3年生も安心して放送の仕方を覚えているようです。



2月からいよいよ新委員会がスタートしました。どの学年の子にとっても、初めて所属する委員会では、仕事に戸惑うことが多々あることでしょう。初めての経験で全てがうまくいくことはないのです。失敗も当然ありますし、失敗からどのように改善していくべきのかを考えていく経験は、また子どもにとってかけがえのない学びとなっていくことでしょう。

我々教職員は、成功も失敗も温かく見守り、子どもたちに寄り添い、子どもたちを支える応援団になりたいものです。

かけがえのない時間もあとわずか

1月29日（水）、3学期に入って3回目の鬼ごっこタイムの遊びを行いました。これは、保体・美化委員会の子どもたちが企画・実施しているものです。

子どもたちが体育館に集まってきた。全校の子どもが前まで時間がかかりますが、先に来た子どもたちは待ってくれていて、子どもたちのやさしさが大変伝わってきます。

最後の子が体育館にやってきました。「〇〇ちゃんが来た！」と、先に来ていた子どもたちが嬉しそうに声をあげ、また、最後に来た子も笑顔で走ってみんなの

ところへ向かいます。

いよいよ開始。まず、保体・美化委員会の子どもたちが、「今日は“けいどろ”をします。“おに”をしたい人は手をあげてください」と投げかけています。低学年3人、高学年1人がおにとなり、委員会の子どもたちの合図でスタート！ 逃げる側は一斉に体育館いっぱいに散らばります。4人のおに役の子どもは、逃げる友達を必死に追いかけています。

ふと目を向けると、低学年のおに役の子が6年生をずっと追いかけています。おに役の「あてるぞ！」という気持ちが伝わってくる走りです。一方、逃げる6年生は、全力では走らず、走るスピードを低学年のためにやや緩めてあげながら、追いかけ追いかけられる楽しさを互いに感じられる距離感で逃げています。

このように、全校の子どもたちが一緒に遊ぶことを通して、相手を思いやりながら楽しさを共有することができた時間でした。

2か月後6年生の卒業を控え、全校児童21名で過ごすことのできる時間はあとわずかとなりました。小規模校で全校の関わりの濃い子どもたちです。だからこそこの子どもたちが共に過ごし、二度と訪れるこのない絆を深める時間をさらに大切にしていきたいと思います。



「平和について家で考えてみたい・・・」

1月29日（水）、平和集会を行いました。この会では、2・3年生が、“戦時中の遊び”や“学童疎開”など戦時中の子どもたちの生活について発表しました。自分たちで当時の様子を調べ、発表内容を考え、この日の発表を迎えたとのこと。

世界では、今もなお争いや戦争が続いている地域もあり、過去のものではない現実があります。

会では、発表を聞いた他の子どもたちから、「戦争を起こしてはならないものだと思った」「平和について、家でも考えてみたい」という感想があり、平和な世の中がいかに大切で素晴らしいものであるかを改めて感じ、平和について考えた大事な時間となりました。

